

1. 実況上の着目点

- ① 渤海付近に 500hPa -33℃以下の寒気を伴った 5400m 付近のトラフがあって南東進。対応して、日本海中部にある低気圧が東北東進。低気圧周辺の日本海側では、大気の状態が不安定となっていて、1時間におよそ 10mm の雨量を解析、雷を検知。
- ② 西日本太平洋側～南西諸島付近では、地上の気圧の谷の場となっていて、1時間おおよそ 20mm の雨量を解析。
- ③ アムール川下流付近には 500hPa で -39℃以下の寒気を伴った 5100m 以下の寒冷渦があって、南南東進。

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の寒気を伴ったトラフは、21日夜には本州付近に進む。1項①の低気圧は、21日朝に東北地方付近に進み、21日夜には千島近海へ進む。
- ② 2項①の寒気を伴ったトラフの接近に伴い、21日朝までに四国の南で新たに低気圧が発生する。この低気圧は、21日夜には前線を伴いながら関東の東へ進み、22日は急速に発達しながら日本の東を北東進し、日本付近は23日にかけて冬型の気圧配置が強まる。北～東日本では 500hPa -30℃以下、850hPa -9℃以下、西日本でも 850hPa -6℃以下の強い寒気が流入し、大雪となる所がある。北～西日本では 22～23日は、大雪による交通障害に注意・警戒し、着雪、なだれに注意。
- ③ 21日は日本海～東北地方に地上のシアーラインが発生し、22日にかけて日本海を南西進する。一方、1項③の寒冷渦は21日に沿海州付近へ南下し、22日にかけてオホーツク海へ東進する。対応して、22日は日本海北部に地上のシアーラインが発生し、23日にかけて北日本を通過する。地上のシアーライン周辺や2項①と②の低気圧周辺では、下層暖湿気と上空寒気の影響で、大気の状態が非常に不安定となる所がある。北～西日本では23日にかけて、落雷や突風、降ひょう、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ④ 2項①～②の低気圧、2項②の冬型の気圧配置、2項③の地上のシアーラインの近傍では、23日にかけて気圧の傾きが大きくなり、強い風や局地的に非常に強い風が吹いて、波が高くなりしけとなる所がある。全国的に23日にかけて、強風や高波に注意。北～西日本では22～23日は、風雪に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点

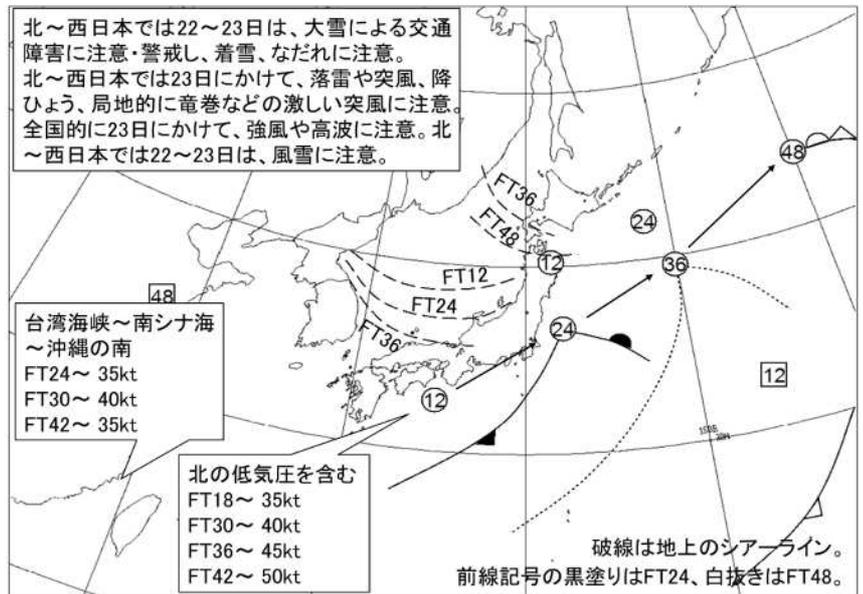
総観場は GSM を基本、量予想や降水分布は MSM や LFM も参考。

4. 防災関連事項 [量的予報等]

- ① 雨量(06時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。
- ② 降雪量(06時からの24時間)：中国 40、東北・東海・近畿 30、北陸・関東 20 cm。
- ③ 波浪(明日まで)：東北・北陸・伊豆諸島 5、その他広い範囲で 3～4m。
- ④ 高潮(明日まで)：東日本では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無

「大雪に関する全般気象情報」を 05 時頃に発表予定。



主要じょう乱解説図